



「おきなわいち」 「お中元」

・銀座わしたショップの初代支店長を経て、ビジネス事業への取組を始める。
・同じ頃、ノースバレーオキナワを主宰する照屋林賢氏がネット上で音楽配信をする企業の立ち上げを計画。このときの出会いが沖縄の食品、工芸、音楽、図書などを網羅した県産品オンラインショップ「お中元」を運営するデジタルあじまの誕生につながっている。
・特徴的な取り組みとして、出店料、コンテンツ制作料、データ更新料は一切とらず、売上げがあった場合に手数料をとるというシステムで、リスクゼロを売り物にしている。
・さらに、決済関係をはじめ、マーケティング、プロモーション、クレーム処理に至るまで、企業と一緒に売上げを伸ばす努力をしている。



施工例



経済産業部ホームページ

<http://ogb.go.jp/move/>

元気企業調査報告書の第1弾、第2弾掲載

問い合わせ先

沖縄総合事務局経済産業部 企画振興課

：098-866-0031（代表）内線284、276

担当：砂川、野原

編集等にあたって
本元気企業調査報告書の取材・編集に当たっては、創業者がどのような思いで新たなビジネスを展開し、商品やサービスを開発し、マーケティングをしていったか、読者にメッセージとして伝えられるよう、できるだけ経営者の「生の声」を感じ取れるよう心がけております。さらに、経営者の顔写真や取扱商品、工場・事務所の風景写真を取り入れ、企業の全体イメージができるようにしました。

「廃ガラス瓶からの変身」 「おトリム」

・環境問題に対する社会認識の高まりを受け、同社が手がける廃ガラス瓶を原料とした軽量資材の製造・販売事業が注目を集めている。
・リサイクル事業の立ち上げに当たっては、社内に研究プロジェクト体制を組み、国や県の支援制度の活用や技術提携を進め、平成八年度には廃ガラス瓶を粒状化、粉体化する装置を完成。平成十年度にはガラス粉体を焼成しながら発砲させ、軽量資材化するプラントの開発に成功している。
・開発されたプラントは、既に、群馬、山口、兵庫県など県外で稼働している。
・また、平成十二年度リサイクル推進功労者等表彰で通商産業大臣賞、第三十一回中堅・中小企業新機械開発賞で「機械振興協会開発賞」も受賞している。

「我らに続け、若き企業家たち」 「おレキサス」

・平成十年に設立され、社員平均年齢が二十八歳という若い企業である。
・学生時代に手がけたネット関連事業を基盤として起業し、パートナーのシステム開発技術者とともに、ウェブサイトを構築やウェブサイトをアプリケーションの開発を行っている。
・特徴的な取り組みとして、ネット上でグループウェアサービスを提供する「チームギア」を無料で提供し、ユーザーがそれを体験することによって、社の技術力を評価することができ、ビジネスの成約率が非常に高いという。

「オジー、オバーから教わった薬草の知識」
・（株）沖縄長生薬草本社
・四畳半一間の個人企業からスタートし、年間売上げ五億円の企業へと成長。
・小さい頃、祖母から教わった薬草の知識を元に、現在では、中国を含めた世界各地の薬草を収集している。



小型生ゴミ処理機

「発明家は地域活動家」
・（資）大名鉄工
・技術開発により付加価値の高い仕事を狙っている。
・発明工夫による環境とエネルギー問題に関心を抱き、創造技術研究開発補助金を活用した小型生ゴミ処理装置の開発に成功している。
・また、地域新生コンソーシアム研究開発事業で琉球大学を中心としたクリーンな発電システムの開発を行うグループにも参画している。
・企業経営の理念として、地域活動に積極的に参加しており、特に、子供達のチャレンジ精神を刺激するような活動を行っている。

「金型エキスパート」 ・（有）奥原鉄工

・これまでの研究から、薬草は単にブレンドするだけでは効果が薄く、その特性を把握した上で、調合・配合することによって相乗効果を生み出すことができるため、業界への努力も提言している。
・失敗を恐れず前向きにチャレンジすることを企業戦略としている。
・県外の工場で十数年機械金属加工に携わり、多くの経験と技術を修得し、沖縄で会社を設立。
・また、沖縄県工業技術センターの技術研修を受け、放電加工技術を修得。精密金型の生産を可能にしている。
・平成十二年には、中小企業経営革新事業補助事業を受け、「超高速NC放電加工機」を導入し、プラスチック製品等の新たな精密金型製作に乗り出している。



工作機械

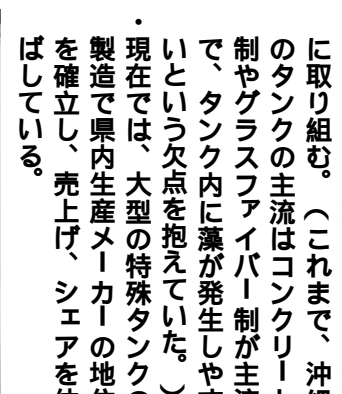
「県内唯一の焼却炉メーカー」 ・（株）開邦工業

・東京で培った技術を活かし、県内で唯一の焼却炉メーカーを立ち上げている。
・地域環境保護への奉仕を企業理念とし、エンジニア集団の形成、より質の高い仕事への挑戦、質的な成長、量的な拡大を戦略としている。その具体的展開として、平成十二年三月、ISO14001、平成十三年三月、ISO9001を取得。
・中期ビジョンとして、東南アジアへの進出も目指している。



縦型焼却炉

「基本方針は『人材づくり』」
・（株）国際システム
・昭和五十七年、沖縄県の情報産業振興、県内雇用の拡大を目的に、設立され、現在、システムエンジニア（SE）を約百名抱える。



ステンレス製タンク

・県内企業の多くが、商品開発のための社内環境整備への認識が不足していることから、経営者に対するアドバイスを始め、研究者の教育等の企業支援型の二ユービジネスを展開している。
・また、プロジェクト毎のグループ制を導入しており、その結果、二十代の若いグループリーダーが育ち、社員のモチベーションを高めている。
・「特注品にこだわる理由」
・（有）北谷厨房設備
・東京の会社でステンレス加工に係る溶接技術を修得し、沖縄で創業。
・台湾上空でみたステンレス製のタンクからヒントを得、沖縄でのステンレス製の水タンク造りに取り組む。（これまで、沖縄のタンクの主流はコンクリート制やグラスファイバー制が主流で、タンク内に藻が発生しやすいという欠点を抱えていた。）
・現在では、大型の特殊タンクの製造で県内生産メーカーの地位を確立し、売上げ、シェアを伸ばしている。